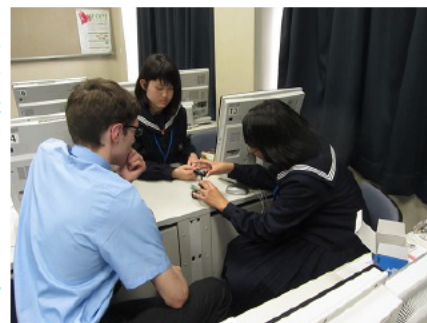




向陽姉妹校 英国ダートフォードグラマスクール来校 環境科学科1年生が国際科学交流を行いました。



ダートフォードグラマスクールと向陽生の国際交流の一つとして、10月25日に国際科学実験講座が行われました。国際科学実験講座では、環境科学科1年生とダートフォード生がグループを組んで共同実験を行いました。講座Aは、和歌山大学システム工学部准教授の大須賀秀次先生にご指導いただき、発光物質を利用した次世代ディスプレイとして注



目されている有機ELの学習と化学発光を理解するために化学発光物質を実際に作成する実験を行いました。講座Bは、慶應大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科特任助教の山浦秀作先生にご指導いただき、パソコンと姿勢制御ロボットを用いて人工衛星の姿勢制御技術についての実習を行いました。講座A、Bともに、海外留学生と共同で行う実験であり、生徒は緊張していたようですが、お互いにコミュニケーションを取りながら実験を行えたことは、大変貴重な経験になったと思います。

普通科理系2年生研究室訪問 近畿大学生物理工学部を訪問



8月25日（木）、普通科理系2年生が近畿大学生物理工学部を訪問しました。この訪問は、大学で行われている研究について見聞を広めることで、科学技術についての理解を深めるとともに、学問に対する研究者の姿勢についても学習することを目的としています。



まず、全体会として生物理工学部の理念や6学科の概要、特徴についての説明を受けました。その後、興味のある学科に生徒はそれ

ぞれ分かれ、各研究室を見学しました。生物工学科の研究室では、植物に含まれる化学物質に関する研究、特に生体防御に関わる新規有用物質の探索を行っているとのことでした。

ある地域の言い伝えに登場する植物があり、その植物には何か言い伝えられるための理由があるはずだと考えて研究対象にすることもあったと教えていただきました。生徒は興味深く話を聞き、教授の方や大学生に質問をしていました。

環境論文ポスターセッション 向陽高校武道場で開催

9月16日（金）に武道場で、環境科学科1年生が向陽中学3年生にむけて、環境論文ポスターセッションを行いました。環境論文ポスターは環境科学科1年生が中学校卒業論文で作成した環境を題材とした論文をポスターとしてまとめたものです。論文テーマとしては「エンジンから紙をつくろう」「原子力発電のこれから」「自然との共生～カスミサンショウウオから考える」「外来種問題の今」「海洋濃度差発電とは？」などがあり、中学生は熱心にこれらに耳を傾け、地球上にはさまざまな環境問題があることを知ると同時に、先輩とより交流を深めていました。

